

令和5年度第3回 総合教育会議 資料

小1プロブレムへの対応について

子ども未来室事業

教育部学校教育課



入間市教育委員会基本理念

ふるさと入間を愛する心

主体的に学び・活用する意欲

豊かな人間性の育成

関わる・つながる

- ①不祥事根絶
- ②心理的安全性
- ③学力向上、探究、体験
- ④働き方改革

健康増進に励む活力

思いやりと共生の心

グローバルな
視点と感覚

子ども未来室事業

20年度 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 元 2 3 4

5

1st ステージ
保・幼・小の連携



小1
プロブレム解消



2nd ステージ

小・中，中・高の連携

平成26年度～**小中一貫教育**

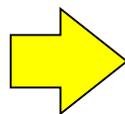
中1ギャップ
高1ギャップ解消

福祉

教育

雇用

医療



3rd ステージ

自立・社会参加

子ども未来室事業の背景

平成19年度

小1
プロブレム

中1
ギャップ

不登校児童
生徒数の増加

暴力行為・いじめ等
問題行動の増加

気に

発

二次障害か・・・。

子ども未来室事業 3つの支援

瞳が輝く入間っ子の育成

子ども未来室事業

子どもの支援に関する事業
入間市すべての子どもたちの自立支援

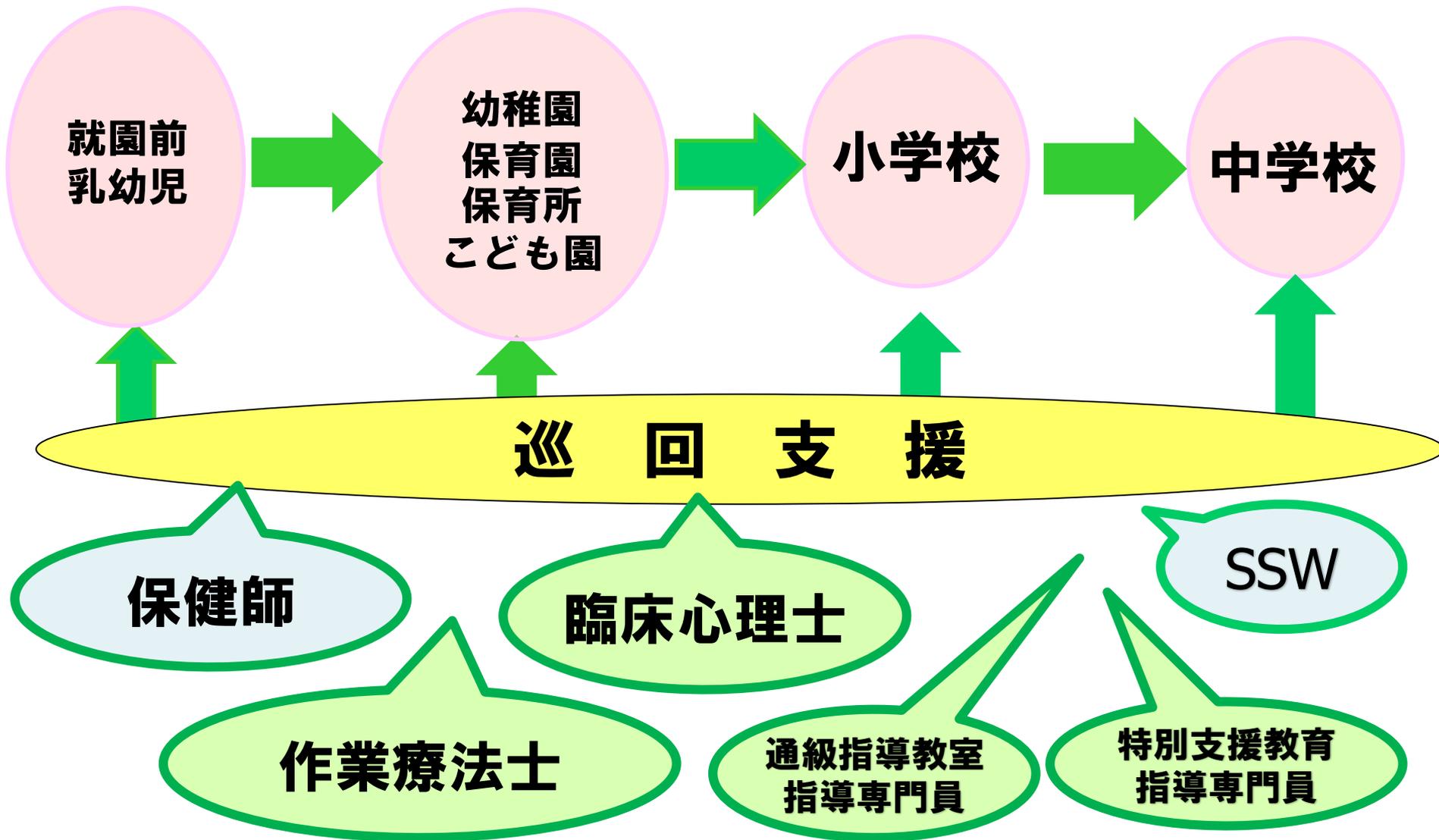
子育て中の親の
支援に関する事業

教師・保育士等の
支援に関する事業

早期支援

巡回支援

発達障害等の早期発見・早期支援

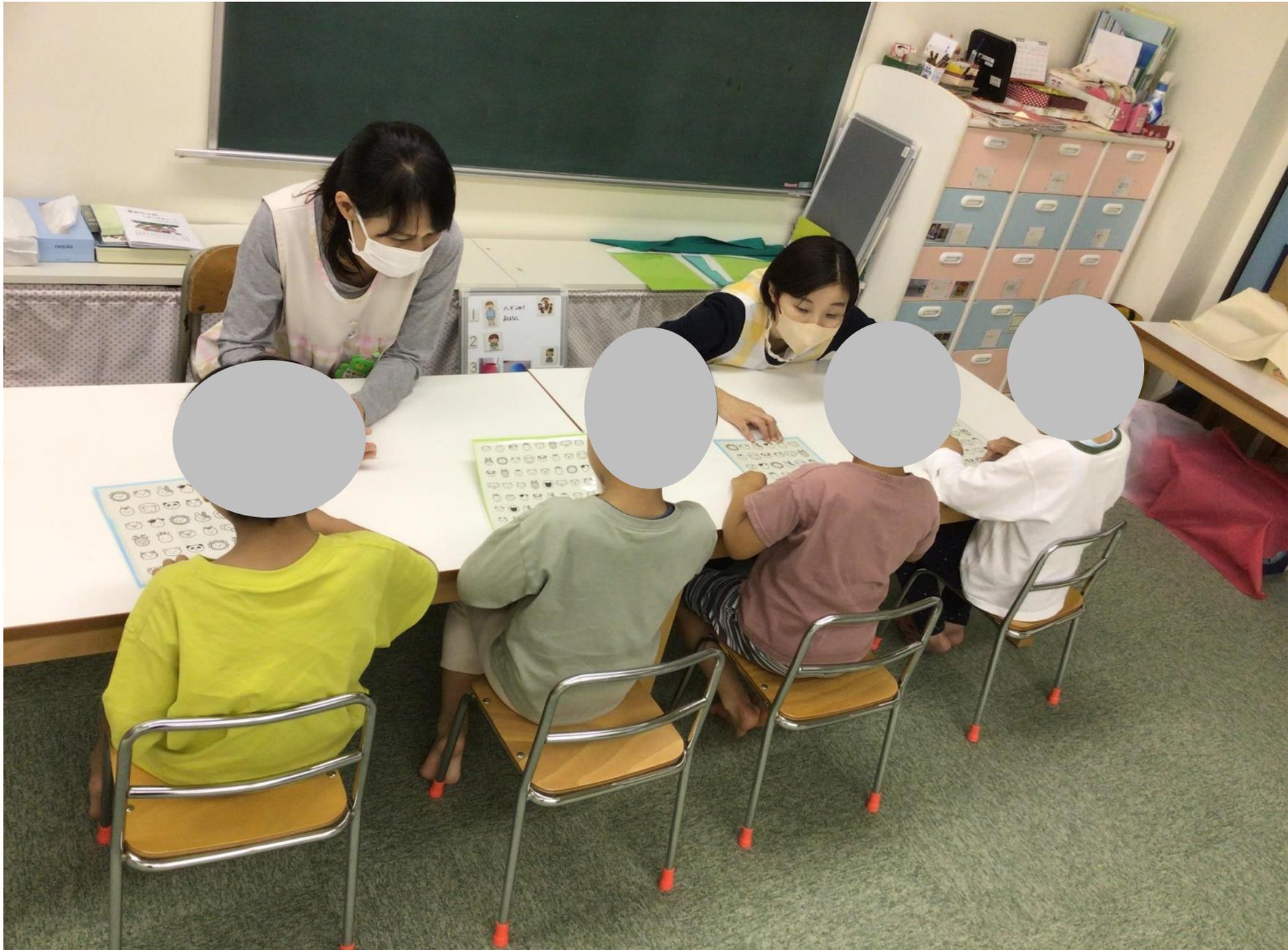


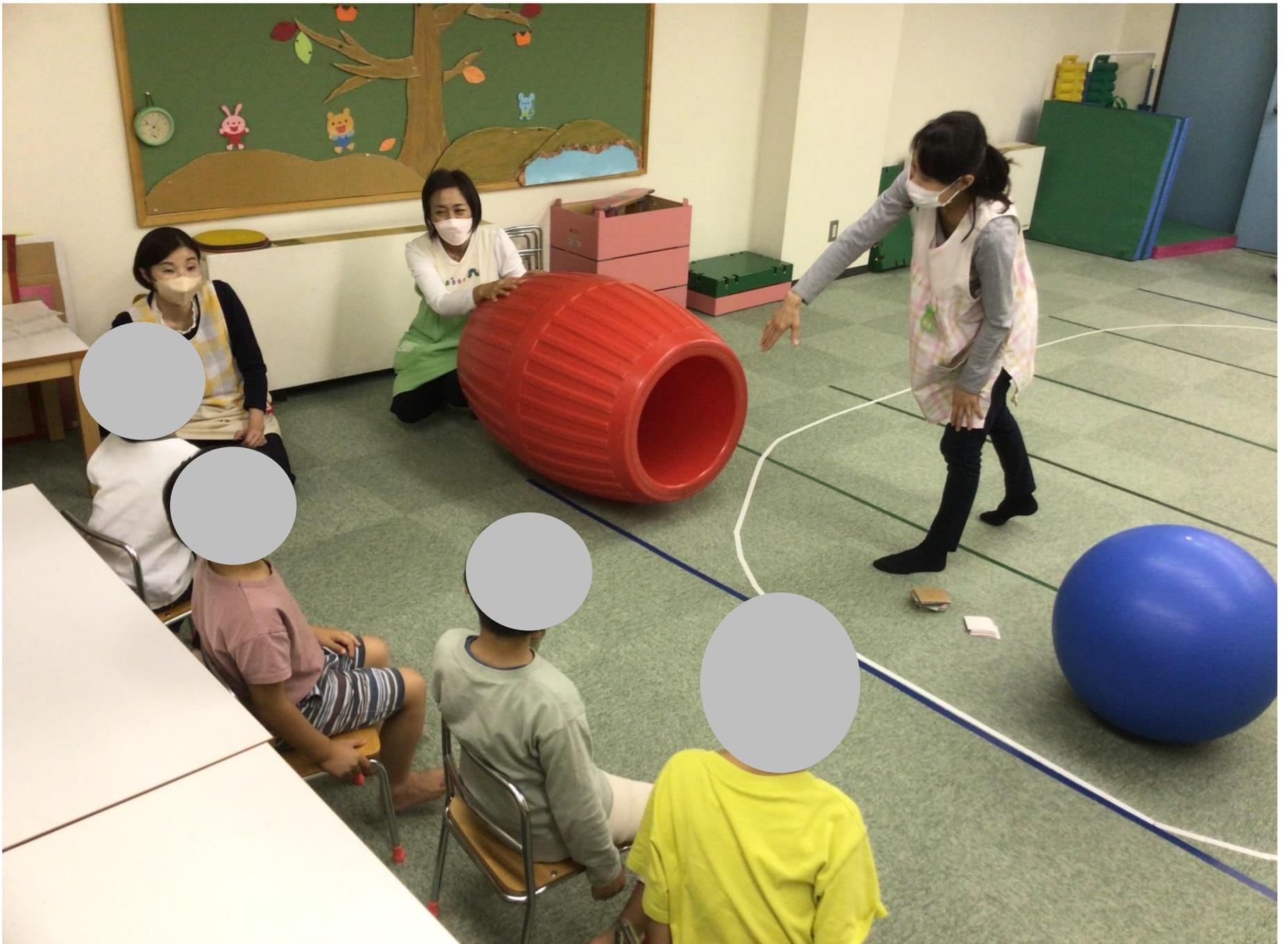
幼児の通級指導教室「茶おちゃお」

早期支援

発達情緒・ことば







ペアレントサポート講座（年4回）



～子育ての悩みや
育児ストレス
減らしませんか？～

ペアレントサポート講座に 参加してみませんか

～ 子育ての悩みや育児ストレス
減らしませんか? ～



-  **日時** 第1回目 令和5年6月 7日(水) 10:00～12:00
第2回目 令和5年6月20日(火) 10:00～12:00
-  **会場** 入間市教育センター
-  **対象** 茶おちゃおに通室されているお子さんの発達や、お子さんとの関わり方について悩んでいる保護者の方
- ・言うことを聞いてくれない
 - ・子どもと一緒にいるとイライラする
 - ・子どもがかんしゃくを起こしやすい など
-  **内容** 【第1回目】日頃、子育てについての悩みやお子さんとの関わりに困っているお母さんやお父さんが、ほっとできて、気持ちを和らげるための講座
【第2回目】具体的なお子さんへの関わり方や、ストレス軽減のための、グループワークなど
-  **講師** ハーティック研究所 所長 高山 恵子先生
-  **参加費** 600円(教材費) 初めて参加の方のみ当日集金
-  **申込み** 茶おちゃおへ (しめきり日 5月31日)



ペアレントサポート講座に参加します。参加は、初めて ・ 回目 しめきり日 5月31日

施設名 参加者名

幼児の通級指導教室「茶おちゃお」 情報交換会

10月～12月

「茶おちゃお」担当 + 未就学施設担任
活動の参観・面談

2月～3月

「茶おちゃお」担当 + 小学校
面談・引継ぎ



個別の教育支援計画、個別の教育指導計画の
引き継ぎ

巡回支援

早期支援



小いプロブレム巡回

保育園での様子



幼稚園での様子

遊びと学びの手引き

【目的】

未就学から就学へ
スムーズな接続を図る

保育園・保育所・幼稚園・こども園編
小学校編



「遊びと学びの手引き」

～保育園・保育所・幼稚園から小学校への
連続性のある育ちと学びを目指して～

保育園・保育所・幼稚園・こども園編
小学校編

第3版



入間市
子ども未来室事業



保育園・保育所・幼稚園編

生活

遊び

学び

うた

ほん

あいさつのしかた
おにごっこ
自分の名前を書こう

小学校編

生活

いろいろなあいさつ

学び

えんぴつの持ち方

スタートカリキュラム

小学校へ入学した子供が

幼稚園・保育所・保育園などの遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として

主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を作り出していくためのカリキュラム

実施期間

入学後2週間、1か月、2か月など、多様に
想定することが可能

第2週のテーマ：いよいよ勉強!自分で生活!

日	4月15日	4月16日	4月17日	4月18日	4月19日
曜	月	火	水	木	金
行事		身体計測 視力検査		NO15(P15)「ならびっこ」	
1	校庭で遊ぼう ドッジボールや鬼ごっこ などをして遊ぶ。	身体計測 視力検査	似顔絵をかこう 鏡を見ながら自分の似顔 絵を書き、友達と見せ合 う。	読み聞かせ 幼稚園や保育所で読んだ 絵本などを読んだり見 たりする。	体育館で遊ぼう 体育館でリズムに合わせ て体を動かして遊ぶ。
	体育1	学行1	国語0.5 図工0.5	国語0.5	体育0.5 音楽0.5
2	教材の使い方 教科書やノートの使い方 を知り、鉛筆で文字を書 く練習をする。	学校探検をしよう 前日探検した場所以外の 教室を見て回る。	春を書いてみよう 春を見つけようで発見し た花などをカードに書 く。	ならびっこ 背の順や席の順など様々 なパターンの並び方ゲー ムを行う。	学校の外を探検しよう 学校の周りを一周しなが ら散策する。
	国語1	生活1	国語0.5 図工0.5	体育0.5 生活0.5	生活1
3	学校探検をしよう 教師や友達と一緒に様々 な教室を見て回る。	春を見つけよう 校庭などで春の花や草木 を観察する。	粘土遊び 道具の使い方を知り自由 に制作活動を行う。	平仮名を覚えよう 平仮名順を発声したり書 いたりして覚える。	1~10の数 1~10までの数を覚え る。

はじめの頃: 安心感・関係づくり

慣れてきたら: 自覚的に学びに向かう意識

実施にあたって

幼稚園教育の基本「環境を通して行う教育」

子どもが安心して、学べる環境を整える

安 心

成 長

自 立

「遊びと学びの手引き」等の活用に関する研修会の開催
(令和5年度は4月6日に実施)

成果

- 令和4年度 1年生の不登校割合は1年生全体の0.3%
- 市内小学校1年生はほとんどの学級が落ち着いた学校生活を送ることができている。



小学校への滑らかな接続



**入間市の未来を
担う全ての子供たちのために**

令和5年度第3回 総合教育会議 資料

小1プロブレムへの対応について

「CLMと個別の指導計画」

こども支援部保育幼稚園課

気になる子は増加傾向

知的発達には遅れはないものの
学習面又は行動面で著しい困難を示すとされた子の割合

【小学校】 (H24) (R4)

・ 1年生	9.8%	12.0%
・ 2年生	8.2%	12.4%
・ 3年生	7.5%	11.0%
・ 4年生	7.8%	9.8%
・ 5年生	6.7%	8.6%
・ 6年生	6.3%	8.9%
	7.7%	10.4%

【中学校】 (H24) (R4)

・ 1年生	4.8%	6.2%
・ 2年生	4.1%	6.3%
・ 3年生	3.2%	4.2%
	4.0%	5.6%

H14

H24

R4

6.3%

6.5%

8.8%

早期発見・支援が必要！！

文科省 R4年12月

小1プロブレム

保育所でもこの
姿が見られる

小学校に入学したばかりの1年生が

- ①集団行動がとれない
- ②授業中に座ってられない
- ③先生の話を受かない

など学校生活になじめない状態が続く

小学校で見られる姿が保育所でも見られる

①集団行動がとれない

- ★「遊戯室に行くので並びましょう」と言われても、並ばずに走りまわっている
- ★椅子取りゲームで負けると寝転び、遊びが続かない

②授業中に座ってられない

- ★一斉活動で折り紙を折っている時、うまく折れないと折り紙を破り、保育室から出て行く
- ★一斉活動で運動会の絵を描いている時、友だちの絵を見て「へた」「じょうず」と言いながら歩き回る

③先生の話を受けない

- ★「今日の消防訓練のお話をします。大事な話です」と伝えてもよそ見をしたり隣の子に話しかけたりしている
- ★絵本の読み聞かせの時、絵本コーナーに行って昆虫の絵本を見ている

「CLMと個別の指導計画」で適応行動を育てる必要

●知的発達障害の子

言葉が出ない。着替えができない。お箸（スプーン）が使えない。

- ・ クラス全体に教える方法だけでは身につかない→担任や加配の先生が身近なところで教えている

●気になる子

順番を守らない。勝ち負けにこだわり1番でないと暴れる。できる課題とできない課題に差があり自信がないと活動に入らない。

- ・ クラス全体に教える方法だけでは身につかない。「環境を整え」「クラス全体への支援」と、その子に対して「理解できる」「納得する」支援が求められる



クラスのみならず対象児にあった方法で支援しなければ適切な行動が定着しない



効果のある計画＝担任の支援のシナリオ＝CLM

◎CLMとは

「CLM（チェック・リスト・in三重）」幼児版は保育所・幼稚園等に通う気になる子の行動を観察し、「個別の指導計画」を作成するために、開発された手法（アセスメントツール）

- 子どもの成功体験や自尊感情の育成が可能になるように、
担任が適切な保育を実践するために作成する支援のシナリオ
- 治すのではなく、育てるプログラム
- 取り組み期間は2週間

担任のための (保育) 支援の シナリオ

《気になる子の支援とクラス全体の支援》

- 気になる子の支援は、
- クラスの他の子どもへの支援とバランスを保ちながら
- 日常の園生活で、
- 育ち合いを軸として、適切な支援を行うことを目的にしています。

★ クラス作りと気になる子への支援が同時に解決

《適切な支援》

- すべての子どもにわかりやすい保育・教育
- 規律のある保育・教育

◎支援の組み立て

1 クラス環境の整え

時・場・手順等の構造化

- 見通しが持てず次の活動がわからない
 - ・スケジュール表を活用する
- 物の置き場所が覚えられない
 - ・個人棚、お道具箱の片付けに写真や台紙

2 クラス全体の支援

クラスルールの明確化

- 人の物を勝手に使う
 - ・「かして」「いいよ」「どうぞ」「ありがとう」
- 勝ちや一番にこだわる
 - ・バリエーションを持たせる

3 個別の支援

成功体験の共有・信頼関係の構築

- 「できた」の成功体験、ほめる支援は、子どもが先生に近づく（信頼関係が深まる）
「5分後に出発だよ」、「絵本を片付けるよ」などの個別の声掛け支援等

事例1

1 気になる姿

あそびの時、友だちの遊んでいる物をとってしまう

2 なぜ？（要因）

- ①自他の物の区別がつかない
- ②かしてもらう方法がわからない
- ③かして欲しい衝動が抑えられない（今すぐに使いたい、我慢ができない）

3 どのようになって欲しい？（目標）

友だちが遊んでいる物が欲しい時は「かして」と言えるようになる

4 どうしたら？（担任の支援のシナリオ）

- ①公共物には園のマーク、私物には子どもの名前を書く
 - ②「かして」「いいよ」「まって」のロールプレイをする
 - ③少し待てば自分の順番がくることがわかるようにする
- 「3分の砂時計の砂が落ちたら、次はA君の番です。一緒に待とうね」と言って待つ
- ルールを守りトラブルが減る
 - 子どもは希望をもって 我慢の力をつける

事例2

1 気になる姿

自由にブロックあそびをしている時、片づけの時間になっても片づけをしない

2 なぜ？（要因）

- ①何を片づけるのかがわからない
- ②片づけの始めと終わりがわからない
- ③もっと遊んでいたい

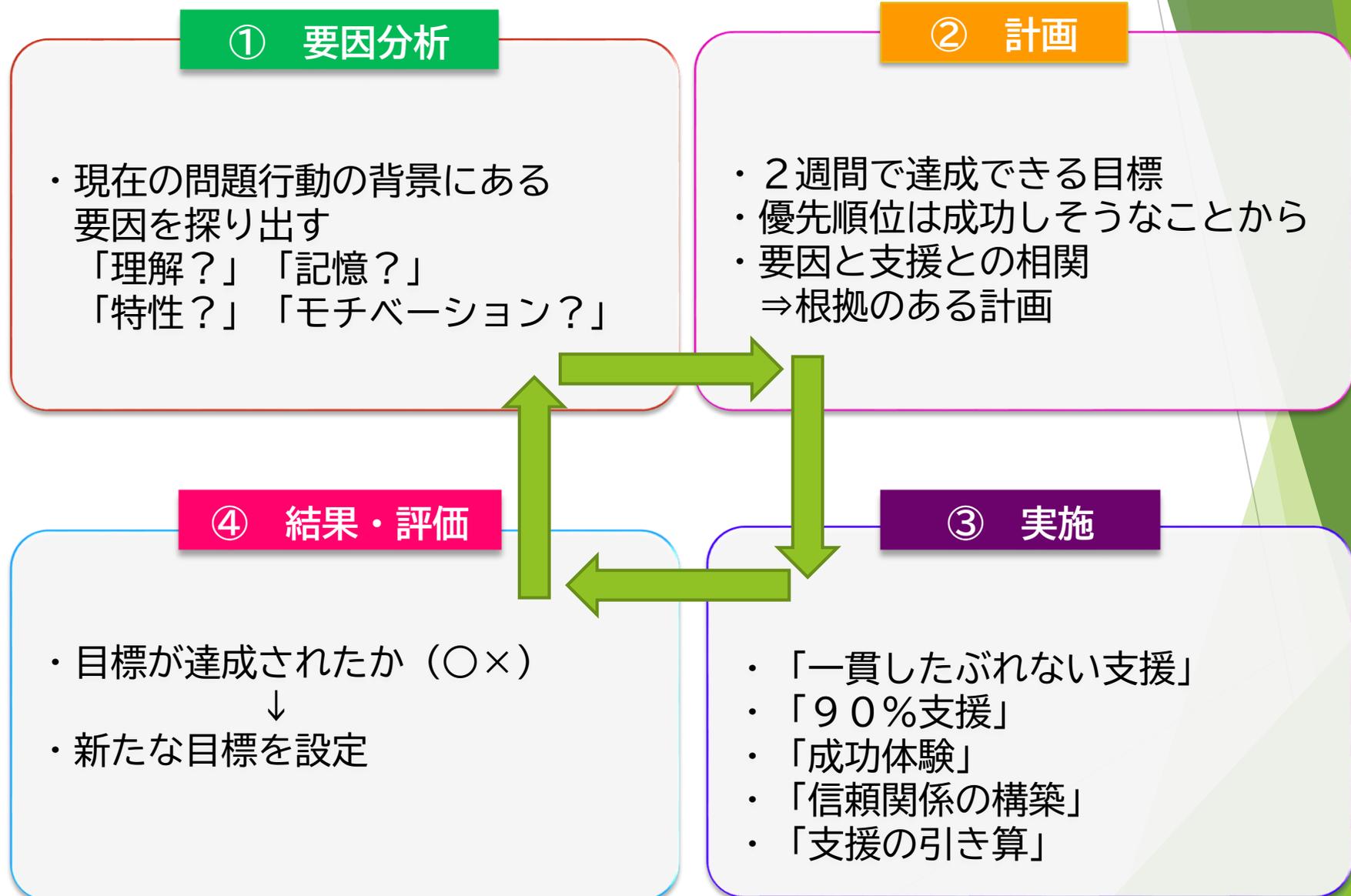
3 どのようになって欲しい？（目標）

片づけの時、グループで決められたものを片づけることができる

4 どうしたら？（担任の支援のシナリオ）

- ①片づける物を書いた「グループ片づけ当番表」を掲示する。「片づけの仕方の表」を掲示する
- ②片づけの時間になったら音楽を流し、終わるまでに片づけることを伝える
- ③給食の後にあそべることを事前に伝えておく
 - ルールを守りトラブルが減る
 - 子どもは希望をもって 我慢の力をつける

「CLMと個別の指導計画」の要点



「CLMと個別の指導計画」の特徴

- ▶ チェックより、“計画”が主である
- ▶ 作成の手順が明確である
- ▶ 担任が、いつ、どこで、クラスのみなどと対象児に、何を、どうするか
のふるまい方が明確に理解できる方法である
- ▶ 要因分析に基づき、クラスのみなどと育ちあう、根拠のある支援方法
である
- ▶ 気になる子の個性を大事にし、問題行動を発現させない「予防的な支
援(保育)」である

「CLMと個別の指導計画」の効果と課題

◎効果

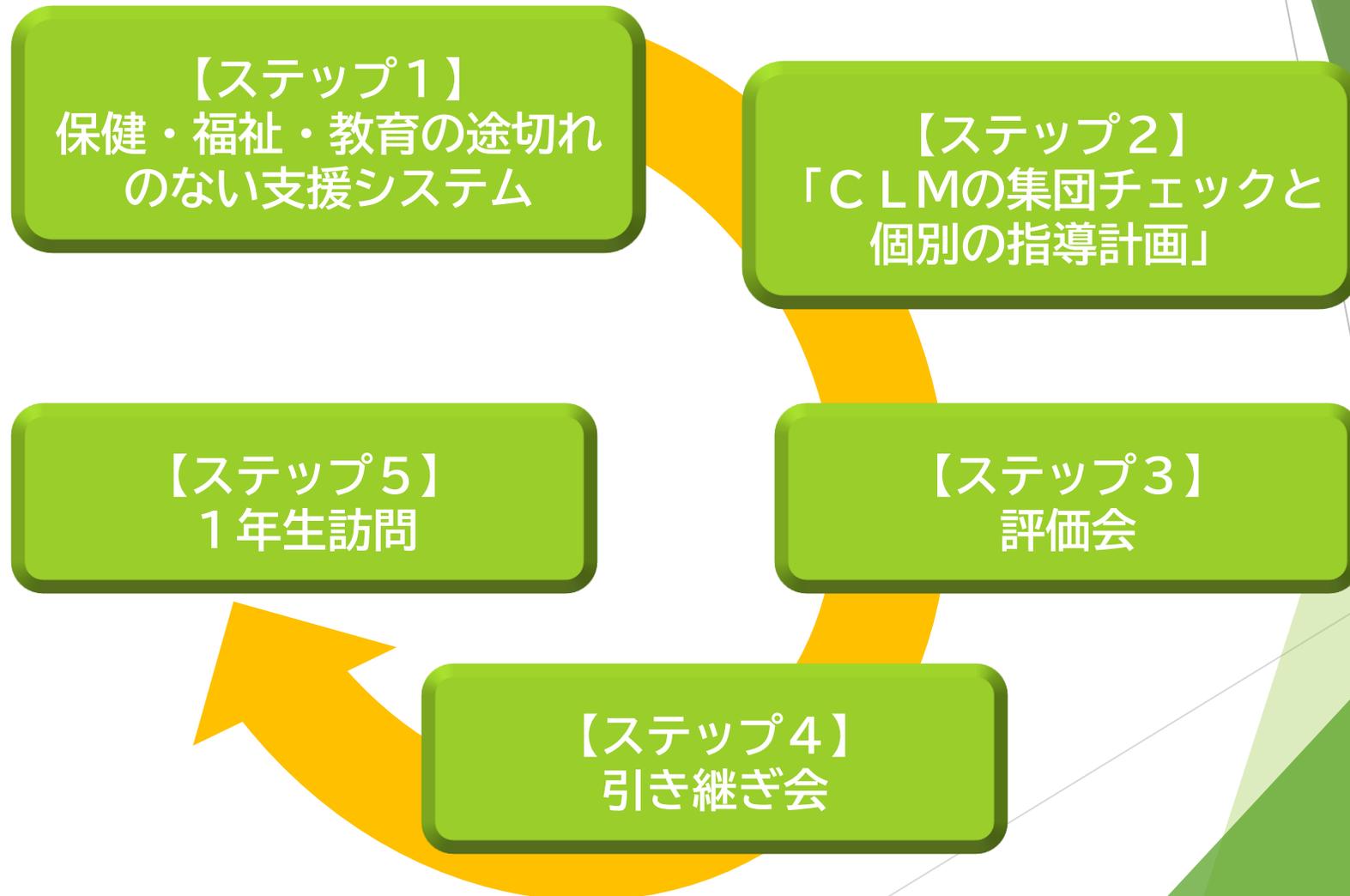
- ▶ 2週間の取り組みで、**気になる行動が軽減する**
- ▶ **気になる子だけではなく、クラスのおともも成長し、クラス全体がまとまる**
- ▶ **保育者と子どもたちの信頼関係が向上する**
- ▶ **保育者の保育力、発達支援の専門性の向上：人材育成**

◎課題

- ▶ **保健・福祉・教育等関係機関の横の連携**
- ▶ **保育所から小学校への縦の連携**
- ▶ **保健・福祉・教育によるワンストップ窓口の体制づくり、チーム力の向上**

保育所から小学校への縦の連携

保育から始め教育に引き継ぐための仕掛け



保育所から小学校への縦の連携

保育から始め教育に引き継ぐための仕掛け

【ステップ3】 評価会

【参加者：保健・福祉・教育】

- * 児童発達支援センター（保健師・保育士・教員）
- * 地域保健課：保健師
- * 保育幼稚園課：行政
- * 教育委員会：行政（指導主事）
- * 校長、教員

● 計画が終了する毎に行う

保育所から小学校への縦の連携

保育から始め教育に引き継ぐための仕掛け

【ステップ4】 引き継ぎ会



引継ぎ資料 (例)

名前: ○○ ○○				
		○○保育所	⇒	○○小学校
項目	目標としたこと	支援した手立て		現在の様子及び引き継ぎ事項
基本的生活習慣	・片づけができるようになる	・イス一つから始めて、片づける物を増やした。		・クラス全体への声かけで、周りを見て、片づけるようになった
理解	・初めて取り組む活動に、参加できるようになる	・事前に絵図を使って、活動の説		・事前に担任と予習をすることで、不安
行動	・朝の会の時、担任の話最後まで喋らずに聞けるようになる	<div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 10px; border-radius: 10px;"> 1年生の担任は、1学期の図工の時間はこのような支援からスタートする </div>		の約束が有効。クラスの中
社会性	・「かして」「いいよ」のやりとりができるようになる	・「かして」「いいよ」のやりとりができた。 ・うまく言えた姿をほ		・「かして」と言えるようになった。
活動・あそび	制作活動の途中で部屋から出ず、最後まで取り組むことができるようになる	・最初は15分くらいの取り組みから始めた。 ・点線なぞりからスタート、「手伝って」を定着、余った時間は興味のある本などを見て待つようにした。		・わからないとき、できないとき「手伝って」と言えるようになり、最後まで取り組めるようになり、飛び出さなくなった。
手指動作	・はさみで曲線が切れるようになる	・担任と個別に関わり、直線を短く切ることから始め、紙を支える手の動かし方を教えた。		・教材を工夫することで、短い曲線が切れるようになった。
指導のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に絵図を使って説明し、ロールプレイをすることで、安心して集団に参加できる。 ・できそうな小さな目標から少しずつ取り組むことが有効。 ・集団の中でも、「手伝って」と言えるように、担任と信頼関係を構築する。 			

保育所から小学校への縦の連携

保育から始め教育に引き継ぐための仕掛け

◎さらに具体的な引き継ぎ

【参加者】

保育園担任、1年生担任、本人、保護者等

【時期】 春休み

【方法】

- 子どもの目の前で支援アイテムを引き継ぐ
- 握手やハイタッチでキーパーソン（担任）の移行

保育所から小学校への縦の連携

保育から始め教育に引き継ぐための仕掛け

【ステップ5】
1年生訪問

【保育所】
担任・所長等

【小学校】
小学校校長、
養護教諭 他



支援の引継ぎ

ケース管理

【児発、健福、茶おちゃお等】
保健師・保育士・教員